



# 三浦半島news

発行日 2020年11月4日 第67号

発行 三浦半島地域連合

TEL:046-821-0005

Fax:046-821-3705

〒238-0006 横須賀市日の出町1丁目5番地ヴェルクよこすか3階

発行責任者:及川 政昭 編集責任者:篠原 恭久

## 『安心して働き・暮らせる三浦半島』を目指し政策・制度要求と提言を提出

～10月16日に鎌倉市・逗子市・葉山町・三浦市・横須賀市の4市1町すべてに提出～



鎌倉市



葉山町

三浦半島地域4市1町に対して2021年度に向けた政策制度要求と提言を10月16日に各市役所・町役場を訪れ提出するとともに、市政全般に関して、労働者としての視点から幅広く意見交換を実施しました。

当日は9時からスタートし鎌倉市松尾市長、10時30分から逗子市桐ヶ谷市長、11時30分から葉山町山梨町長、14時から三浦市吉田市長、16時から横須賀市永妻副市長に「働くことを軸とした安心社会の実現」に向けて、「2021年度に向けた政策・制度要求と提言」を提出しました。



逗子市



三浦市

三浦半島4市1町への統一要求では、地域活性化策や福祉政策・防災政策など計12項目を列举し、新規として『急傾斜地対策』『新住居表示の導入』などを新たに求めました。また、今年新型コロナウイルスに関する6項目を追加し、教育や医療への支援を中心に対応を求めました。自治体ごとへの個別要求では、横須賀市・三浦市へは人口減に対応した商店街活性化策や駅の改良、鎌倉市へは深沢新駅について、逗子市・葉山町には三浦半島中央道北側工区の早期着工などを求めました。

また、要求と提言では、各市町単独ではなく、三浦半島4市1町が連携し、協力出来ることは一緒に行う「広域連携」の重要性に言及し、住民のメリットに繋がる三浦半島全体でのさらなる連携の推進を要請しました。

また、今年新型コロナウイルスの影響で中止となった、4月に三浦半島地域連合が主催・開催している『4市1町政策・制度首長懇談会』への出席の協力をお願いしました。

各自治体から12月末に回答を得る予定になっています。回答の評価を来年3月に行い、政策・制度要求と提言の実現に向けて、4月には『4市1町政策・制度首長懇談会』を行い『働くことを軸とした安心社会の実現』に繋げていきます。



横須賀市

# 三浦半島地域連合議員団との活動報告、8/28政策制度意見交換 10/26新型コロナウイルス対応・急傾斜地対策を中心に意見交換

三浦半島地域連合議員団とは政策制度要求と提言の提出内容やその後の実現に向けて、毎年意見交換を実施しています。今年度は8月28日にヴェルクよこすかで開催し、2021年度に向けた政策・制度要求と提言の内容を検討しました。新型コロナウイルス対応や急傾斜地対策については、課題を整理し、各市町の施策や取り組み等を持ち寄ることが必要だと確認されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止となった三浦半島議員団会議地域外視察に代わり、2020年度三浦半島地域連合政策・制度要求と提言の意見交換会で議論となった主なテーマについて、10月26日に、各自治体の議員から情報等を基に意見交換会を行うことにしました。



8/28 政策制度要求と提言意見交換会風景



議員団山田会長挨拶

三浦半島地域連合議員団会長山田鎌倉市議会議員、三浦半島地域連合及川議長の挨拶のあと、①神奈川県を取り組みを近藤県議会議員、②横須賀市を工藤横須賀市議会議員、③鎌倉市を山田鎌倉市議会議員、④逗子市を高野逗子市議会議員、⑤葉山町を中村葉山町議会議員が、それぞれプレゼンし、質疑や意見交換を行い、議員団会議メンバーは熱心に議論を行っていました。急傾斜地対策については県・各自治体が積極的に取り組み、調査・対応に予算を組み行っていることが共有出来ました。

新型コロナウイルスの対応については、様々な対応は行っているものの、財政に暗い影を落としており、特に神奈川県や横須賀・鎌倉といった企業や観光などの財源比率が高いところは業績低迷が税収減につながり、来年度の予算編成を苦慮している実態を共有することが出来ました。

最後は近藤副会長の閉会挨拶後、議員団会議メンバーと地域連合役員全員で、撮影の時のみマスクを外して記念撮影を行いました。  
(写真前列は議員団メンバー、後列は地域連合役員)



参加者19名全員で記念撮影、横須賀高橋市議会議員は公務のため途中退席

要チェック

要チェック！今年も変わります。

2020年10月1日から、神奈川県最低賃金が1円引き上げられます。

神奈川県地域別最低賃金は **1,012円**(時間額)

1円アップ!



NEWS  
最低賃金